

令和3年10月28日

萩市長 田 中 文 夫 様

中核病院協議会

会長 八木田 眞 光

中核病院協議会での検討結果について（ご報告）

令和3年7月に設置された中核病院協議会において、これまで4回の会議で検討、協議を重ねた結果について、別添報告書のとおり報告します。

つきましては、本報告を踏まえ、萩市としての方針を速やかに決定され、中核病院の形成に向けた議論を進めていただくようお願いいたします。

【中核病院協議会での検討結果（要旨）】

- 1 人口が減少しても地域に必要な医療は守るべきであり、地域の医療機関と連携し、地域医療の拠点としての役割を担う中核病院は必要との意見が大多数であった（不安や反対の意見もあった）。
- 2 中核病院を形成する手法については、萩市民病院と都志見病院が統合し、一定の規模や機能を有した中核病院を形成する手法以外の具体的な提案はなかった。
- 3 財政負担について、萩市の一般会計、病院それぞれのランニングコストとイニシャルコストの概算見込みが示されたが、その適否を本協議会で判断することは困難であるため、今後、専門家を交えた別の場や市議会ですっかりと議論をお願いしたい。

4 地域で安心して暮らすためには、医療環境の確保は必要不可欠であり、地域活性化、まちづくりの観点からも非常に重要である。

萩市におかれては、本協議会における委員の意見を踏まえ、市としての方針を速やかに決定され、中核病院の形成に向けた議論を進めるとともに、持続可能な医療体制の構築に、行政、市議会、関係機関、市民が一体となって取り組まれるよう努めていただきたい。